



げんきな子ども

かんがえる子ども

やさしい子ども

# Happy and Smile

新本幼稚園 <音楽・英語特区>

(園長だより) 令和5年6月23日号

## 小学校のプールであそぶの たのしいよ！



先週から水遊びが始まり、20日にはめろん・ばなな組が小学校のプールに行って遊びました。水に慣れるまでは、少し怖そうにしていた子もいましたが、潜ったり、浮かんだりしながら魚のように泳いだりする子もいて、みんなとても楽しそうでした。途中、ワニさんになってプールの端を歩くときには、全員怖がらずにできて、「ぼく、ワニさんできたよ！」

「わたしもできた！」と、とてもうれしそうでした。梅雨の時期なので、雨でプールに入れない日もあると思いますが、天気の良い日にはしっかり水遊びを楽しみたいと思います。プール掃除にご協力いただいた保護者の皆様、お忙しい中大変お世話になりました。おかげさまで子ども達はきれいなプールで伸び伸びと遊ぶことができています。ありがとうございました。

## 4園交流会で おおぜいの友達となかよくあそんだよ

5月末に今年度一回目の4園交流会を行いました。昨年度まで5園で交流会を行っていましたが、今年度は、神在幼稚園が休園のため、4園での交流会になりました。あいにくの天気でしたが、思っていたほどの大雨にはならず、バスの乗り降りもカッパを着ずにできて、よかったです。外での活動はできませんでしたが、遊戯室で積み木や巧技台などで遊んだり、テントの下で色水遊びをしたり、保育室や廊下で製作をしたりして、他園の友達とも関わりながら楽しく半日過ごしました。5歳児は、選んだ遊びの前に「いすとりゲーム」をみんなでしました。空いた椅子がないときは、友達の膝の上に乗ってもよいというルールだったので、座れない子がいたら「こっちにおいで」「もうひとりのっていいよ」と声を掛けることのできる子が新本幼稚園にもたくさんいて、とてもよい雰囲気を楽しむことができました。



## 『まっちゃん みゆきちゃんと あそぼう』



昨年度に引き続き、『まっちゃん みゆきちゃんと あそぼう』を開催しました。今年度も新本幼稚園に来てくださるといことで、その日を楽しみにしている保護者の方も大勢おられました。



た。まっちゃん、みゆきちゃんと一緒に給食を食べて、その後に研修会という流れだったので、子ども達はお二人にすっかり慣れて、始めから大きな声で伸び伸びと歌ったり、手遊びをしたりと、パワー全開でした。おうちのひととのふれ合い遊びもいっぱいできて、子ども達は満足の様子でした。子育ては大変なこともあるけれど、また明日から頑張ろうという力をお二人からたくさんいただくことのできた実り多い研修会でした。研修会の日、大雨警報がでたらどうしようと心配しましたが、無事開催できてよかったです。(裏面へ)

★研修会后、感想やまっちゃん、みゆきちゃんへのメッセージをたくさんいただき、ありがとうございました。いただいたものの中から、いくつか紹介します。

- 去年は熱で参加できず、参加したお母さんたちから「楽しかったよ～」と聞いて、どんなことをするのか楽しみにしていました。ハンカチでバナナを作っていたのが懐かしかったです。保育園の時にいろいろ作ったな～。バナナやネコ耳、おさいふ……。今タオルハンカチだから、ハンカチを使って子供と遊ぶ発想がなくなっていました。また家でもやってみようと思いました。
- お二人の姿を通して、「子供に寄り添う」とはこういうことなのだろうなあと感じました。子供に接するとき、「善悪」「しつけ」「まわりに迷惑をかけていないか」でジャッジするようになっていた自分自身に気付かされました。一緒に楽しむという感覚も忘れがちだったと思います。「正しい親」より「楽しい親」という言葉にハッとさせられました。
- しっかりと動いて、いつもはしない遊び方、子供とのふれ合いがたくさんあって、貴重な体験でした。我が子だけでなく、他の子供とも手を繋いだり笑ったり……。いつもはダメって言うてしまうビリビリ遊びも、怒られないから楽しそうで、いい顔をしていました。片付けも率先してできるような言い方で、もっと普段から工夫をすれば、何でも遊びに繋がるんだなあと勉強になりました。
- 親も一緒に本気で遊ぶことが大切だなと感じました。他の子と比べる必要はないと頭では分かっているけど、出来ないことばかりに目がいて、いつも怒ってばかりいます。「心配しなくても、いつかできるようになるから」という言葉に、とてもホッとしたような気持ちになりました。出来ることをたくさん褒めてあげたい。しっかり言葉で伝えていきたい。子どもが、そして自分自身も楽しんで生活できるように、周りの人の助けをかりながらやっていきたいと思います。
- 二回目だったこともあり、子ども達がすぐにまっちゃんの近くに行ってまとわりついていて、子ども達の心を掴んでいてすごいと思いました。子どもが楽しいだけでなく、親に向けても理解や共感を示してくれ、頑張りを認めてもらえて、とても励みになりました。
- マジックにかけられたように、大人も子どもも良い表情で、一時間があっという間に過ぎました。色々な心に残った言葉もありました。みゆきちゃんの「いつか食べれるようになるから、今は好き嫌いがあってもええ！！」という言葉。我が子も1歳ぐらいから偏食が激しく、なかなか体重も増えませんが……。好きな物はおいしそうに食べてくれるし、焦らずにいきたいなあ……。と改めて思いました。
- 子供と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。『まっちゃんみゆきちゃんとあそぼう』に参加して、「子供でもちゃんとしないとイケない」と、私の勝手な理想を押しつけていたんだと改めて感じました。言うことを聞かなくても、子供らしく元気に楽しく過ごせることが一番大切だと気付きました。自分の子育てを見つめ直す貴重な時間となりました。
- まっちゃん、みゆきちゃん、楽しい時間をありがとうございました。『おかあさんだいすきだよ』の絵本は、子どもが2～3歳の頃、よく行っていた子育てひろばで何度か読んだ本でした。当時は親子ともまだピンときていなかったことが、今日のみゆきちゃんの声の突き刺さりっぷりで身をもってよく分かりました。9割、言うてしまっている言葉でした。「そう言うっちゃうのは、君たちのことが大好きだから」と子ども達に伝えてくださる温かさ。『こんな風に言ってくれたら、もっと大好き』の視点にすら、「それができれば、悩まないよ」と苦しくなる気持ち……。教育者じゃない、養育者として、たくましく笑い飛ばして楽しんでいきます。少しずつ。

